

慈永ノ追
悼ノ偈

靈致ノ追
悼ノ偈

同じ比、七月七日、年々の歌會とおもひ出て、

あまの川わふるとあしの秋ことよけふを思へいぬるゝ袖ある

九月十三夜、雨ふり侍し、故將軍明月のくもる事をかきりあく念あ
き事はおほせられしこと浅思ひ出て、

大空の月やえるらんこよひとてえもるを歎く人もあきよ

〔佛觀禪師語錄原外題青〕○傷頌城 延文三禩初秋仲澣、虔承大檀那之鈞命、

瑞泉寺殿玉巖大居士同賦三題有和歌、賦三首、題云奉追悼等持寺殿仁山大居士、

寄露哀傷

一天沆瀣墜瀼々、想見平生澆德光、衣裡明珠隨物現、異花靈草滴清香、

寄月哀傷

銀漢高晴月一輪、寰中塞外拭烟塵、仙歌唱罷清風激、桂子飄香秋入晏、

寄夢哀傷

蝶與莊周何處歸、尋思蹤跡闕幽扉、庭槐風渡天如洗、太白流光照紫微、

〔無規矩〕下之下 小詩奉悼等持寺殿

彫弓并寶劍、韜略令諸侯、沒後遺威德、無人取一杯、

南朝正平十三年 北朝廷文三年四月三十日

八五五